

目次

題 字	〔唐澤土木局長〕
寫 眞	〔石垣知事〕
序 文	〔古市公威男爵〕
	〔前川第一技術課長〕
	〔兒玉土木課長〕

編 者 所 感	一
牛伏砂防工事概要	六
沿 革	一〇
牛伏砂防工事總工費調	一四
牛伏川砂防工事施行明細表	一七
人夫就勞の狀況	一九
牛伏川水害の沿革	三〇
水害に關する古文書	三六
牛伏川水害地及砂防工事實蹟視察案内	六五
牛伏川に關する特殊の事情	八一
貳拾貳年前の新聞記事	八五
工 事 雜 記	一〇三
眞の信州人は山嶽に由つて養はる	一三一
都會人は來りて心身を養ふべし	一三一
山は傷き痛める人々を慰む	一三三
牛伏川上流より鉢伏山に亘る地質	一三三
砂防工事追想記	一五一
地 方 餘 談	一五八
埴原役所と百瀬の陣屋	一六一
塩澤川の川筋	一六五
戰國時代の古戰場	一六五
栗の大木と荒井部落	一六六
塩の池と八軒長者	一六六
八軒欠の起原	一六九
偶然にも欠の湯の出現	一六九
八軒長者の屋敷蹟	一六九

崖の湯	一七〇
崖の湯の人柱	一七一
砂防文書綴	一七二
牛伏川通 上瀬黒字樋口切 工事日記	一七四
村と青年會の慰問狀	一七六
信濃の國は日本の寶庫なり	一七六
高原に於ける保健上の効果	一七七
信濃川流域河川狀況に就て	一七八
千曲川治水紀功碑	一八四
鉢伏山附近の道路網	一九四
鉢伏山頂巔に勸請したらしい最初の牛伏寺	一九四
片丘村と古牧塲	一九五
鉢伏山と親衡の傳説	一九五
郷原文書と安曇の治水	一九六
砂防工事の完成と其修築保全	一九六
斯の沿革史編纂事業の始末	一九六
斯の工事沿革史を校正して	一九九
編纂後記	二〇〇

附 錄

砂防法	二〇五
第一章 總 則	二〇五
第二章 土地ノ制限及砂防設備	二〇五
第三章 砂防ニ關スル費用ノ負擔、土地所有者ノ權利義務並收入等	二〇六
第四章 警察監督及強制手續	二〇七
第五章 訴願及訴訟	二〇九
第六章 附 則	二一〇
砂防法施行規程	二一〇
砂防指定地取締規則	二一一